

# コロナ対策とまちづくりの

## 両立を図ってまいります

雄武町長 石井 友藏

**新年** 明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃から町政に対しご理解と協力を賜り、心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の発生から、二年が経過しました。この間、医療、保健、介護の現場を支えていただいている多くの方々、感染対策に協力していただいている事業者の方々に対しまして、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの脅威が、これほどまでに長引くとは誰も予想できなかったことではないでしょうか。新型コロナウイルス感染症により、私たちの暮らしは大きく変化しました。

日常生活においては、「マスクの着用」、「手洗いの励行」、「密の回避」といった新たな生活様式の実践、働き方に関してもテレワークやオンライン会議の活用など、各種感染症対策が行われています。「コロナ対策の切り札と言われている」「ワクチン接種」により、感染者数は減少し、外出・移動の自粛および制限が緩和されていますが、新たな変異株の発生や海外で感染者数が増加しているところもあり、日本でも第6波による感染拡大の懸念は拭えない状況にありますので、引き続き感染症対策の徹底が必要であります。

国内では衆議院議員総選挙を経て、岸田内閣が本格的に始動いたしました。ウイズコロナ、アフターコロナに向け、感染拡大防止と経済の両立を図るべく、各種施策の

実施を予定しておりますので、その動向を注視し、引き続き感染拡大防止、町民生活および町内経済支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

昨年一年間もコロナ禍ではありましたが、嬉しいニュースもたくさんありました。開催自体も危ぶまれ、多くの競技会場において無観客となりましたが、東京2020オリンピックが開催され、日本人選手のメダルラッシュに多くの方々が勇気と元気を与えられたのではないのでしょうか。

また、メジャーリーグの大谷選手の活躍が連日報道され、リアル二刀流という言葉が令和3年の流行語大賞に選ばれたなど、スポーツに沸いた一年でもありました。そのほかにも、日本出身の真鍋淑郎さんが二酸化炭素の温暖化の影響に関する研究でノーベル物理学賞を受賞されるなど、日本人として大変誇りとなる話題もありました。さて、昨年の町内産業の状況であります。農業における生乳については、搾乳農家は46戸で一昨年より1戸減少しています。各協業法人における経産牛の増頭が順調に進んでおり、生乳生産量は過去最高を記録した一昨を上回っております。

しかしながら、牛乳生産額については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、飲用乳の需要が低下し乳価が減少傾向にあることから一昨を下回る状況が続いております。

また、1番牧草については、適度な気温・降水量により例年並みの収量となりましたが、2番牧草・デントコーンについては、6月から7月にかけての干ばつ被害により

収量は平年値を下回っております。

漁業は、主要魚種の1つでありますホタテ貝が計画を上回り、史上最高の水揚げを記録した一昨年に引き続き2万トンを超える漁獲量となるほか、単価もコロナ禍以前並みに戻り、漁獲金額は、一昨年を大幅に上回ったところでもあります。毛ガニは、資源量の減少が深刻化するものの、計画量の44トンが順調に水揚げされ、サケは、過去5年間で最高の漁獲量となり、単価の大幅な上昇の影響から漁獲金額は、過去に例を見ない伸び幅となるなど、雄武町全体で漁獲金額は過去最高となったところでもあります。

関連する水産加工業では、コロナ禍の影響による国内外需要の減退などにより、厳しい状況が続いておりましたが昨年は向上基調に転じたことから、今後においてもホタテ貝の安定的な原料確保、毛ガニ資源の回復、サケの豊漁を期待しているところでもあります。また、新型コロナウイルス感染症による入国・渡航制限により、外国人技能実習生の受け入れが困難な状況となっていることから、水産加工業の安定経営のためにも早急に解除される社会情勢となることを心から願っております。

私の任期も早いもので折り返しの二年を迎えました。この二年間は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題として、全庁を挙げて取り組んできたところでありましたが、本年につきましても引き続き町民の生命と暮らしを守るという町長に課せられた使命を果たしていくとともに、コロナ禍にあっても、町長就任にあたりまして掲げた「郷土愛を育み未来に夢と希望の持てる

# 令和

4年の新しい年が明けました。町民の皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。旧年中は町議会に対して深いご理解とあたたかいご支援、協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中で往来制限や防疫対策に各国が対策を尽くした一年でした。前年に続き我が国・道はさまざまな支援金・給付金、補助金などを投入して国民の生命と経済を守るための対策を行いました。雄武町も国からの予算を活用し独自の施策実現のために、町と議会は活発に議論をまわりました。

明るくニューズとしては、コネスコが奄美大島、徳之島、沖繩島北部および西表島（鹿児島）、沖繩県を世界自然遺産に、また「北海道・東北の縄文遺跡群」（北海道、青森、岩手、秋田県）を世界文化遺産にそれぞれ登録の決定。史上初の一年の延期となり、全会場が原則無観客で開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、日本選手の活躍によって史上最多のメダルを獲得したほか、アメリカ・メジャーリーグのエンゼルスの大谷翔平選手が投打二刀流の活躍で日米両国民を毎日楽しませてくれ

ました。

また、衆議院議員選挙を控えた9月、菅首相が党総裁選に出馬せずに退陣を表明。その後4名による総裁選で岸田文雄氏が総裁に選出、臨時国会で首相に指名されました。10月31日の衆議院議員選挙では、自公政権で安定多数の議席を獲得しています。

漁業の水揚げ高は、毛ガニ・鮭・ホタテの漁がともに順調で前年比30億円以上の増額によって過去最高金額70億円を超えました。まさにオホーツク海の豊かさを実感した年でもありました。しかし、秋に道東太平洋沿岸で確認された赤潮による漁業被害には自然界の現実に畏怖の念に打たれました。今後の調査研究と、国・道の対策に期待するところです。

農業の生産額は、前年を上回る生産額を達成し順調に推移しています。漁業・農業共に昨年は前年を超える実績を上げられました。両協同組合の関係者の努力に心から敬意と感謝を申し上げます。

将来の雄武町を支える次世代のため、優れた漁港や大規模で良い状態の農地を残す事が、今を生きている私たちの大きな責務だと考えています。安全操業の根幹である幌内・元稲府・雄武・沢木各漁港の整備が毎年予算化され、衛生管理型の屋根付き岸

# 雄武町の資源と

## 先人に感謝し心豊かに

雄武町議会議員 橋詰 啓史

壁などが複数の漁港に設置されています。

「国営緊急農地再編事業雄武丘陵地区」農地整備事業は今年で5年目です。毎年、順調に工事が進み、排水や作業効率の向上した新しい大面積の農地でチモンやオーチャードグラスなどの良質な牧草や、ダックタンなどは栽培が行われ、年々農地整備の効果が見られています。

「雄武町議会基本条例」が昨年12月の定例議会にて制定されました。条例の前文には「雄武町議会基本条例は、町民とともに歩む議会、町民に開かれた議会の実現を目指し、議会や議員の活動原則」「議員相互の自由な議論、などを盛り込み、議会の活性化、町政の発展と町民福祉の向上に寄与する」と表現されています。

私も議員は雄武町の将来を見据え、町民の皆さまの想いを背負い、安心して暮らせる雄武町を築くため、自分自身の責任を強く自覚し今後も活動してまいります。

本年も、議会に対し、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、町民の皆さまにとって、より良い一年になりますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

雄武町長と雄武町議会議員が語る

# 寅年の誓い

まちづくり」という大きな目標の実現に向けて、各種施策に全力を挙げて取り組み、そして、感染拡大防止とまちづくりの推進の両立を図ってまいります。

先人が築き上げましたこの町をしっかりと守り、次代に引き継いでいけるように、職員とともに政策の具現化に向け全力を傾注してまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結ぶに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

